



貴志川線の未来を“つくる”会  
kishigawa-sen.jp

# 貴志川線の未来を“つくる”会

VOL 7  
2011.6

発行／貴志川線の未来を“つくる”会 発行者／濱口 晃夫  
〒640-0361 和歌山市伊太祈曾558 TEL 073-478-0053

## 22年度決算 運輸実績はほぼ前年並み 経常赤字も補助金上限額の範囲内に

### ● 定期外は1.8%減、通勤定期は1.7%増

開業5周年を迎えた和歌山電鐵は、22年度決算を発表しました。

これによると、運輸収入は前年度比0.9%減の3億2,825万円、輸送人員は前年度比0.1%増の217万1千人となり、収入では微減、人員ではほぼ前年度並みという結果となりました。

定期外収入については、特に年度当初、一昨年運行開始した「たま電車」効果の反動減や長引く不況による出控えの影響が大きく、後半に貴志駅リニューアルにより相当の盛り返しが図れたものの、前年度比1.8%の減となりました。

定期収入については、近年の駅前駐車場（伊太祈曾駅）・駐輪場（岡崎前駅ほか5ヶ所）の整備や定期券の通信販売等の対策により、通勤定期は0.7%の微減にとどまり、通学定期は1.7%の増となりました。

### ● 経常損益は7,813万円の赤字

運輸種入以外の収益については、グッズ販売が貴志駅リニューアルの効果で好調を維持したほか、「たまカフェ」事業も初の飲食事業への取り組みながら堅調に推移しました。

いっぽう経費については、電車線の1500V昇圧対応工事（既存変電所の老朽化対策）、岡崎前駅分岐器の更新工事（老朽化対策）、そして貴志駅舎新築工事（利用促進対策）等の大型の設備投資が続いたことにより、減価償却費その他の経費が増加しています。

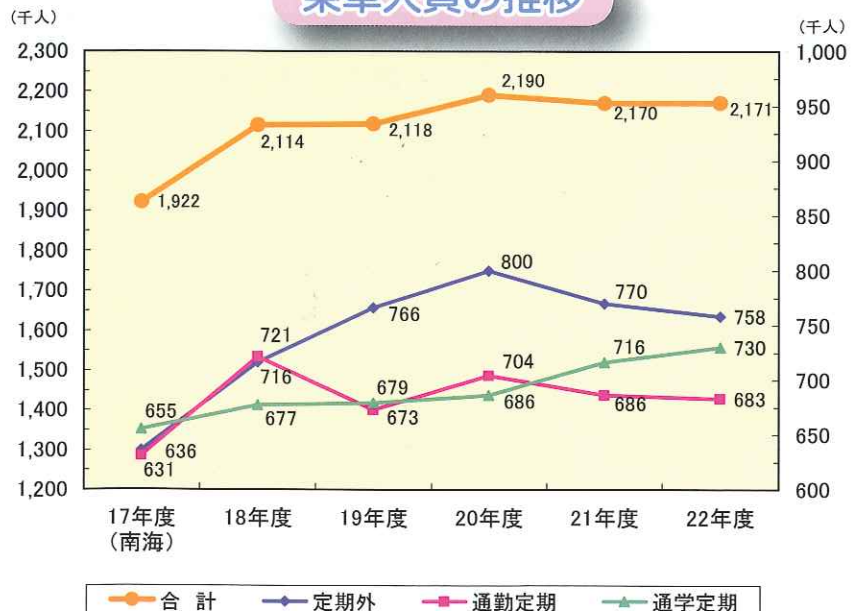
この結果、経常損益は7,813万円の赤字とはなりましたが、単年度の損失としては、開業2年目の19年度以降、4年連続で和歌山市・紀の川市による

運営補助金（上限8,200万円）の範囲内に抑えることができました。

### ● 厳しい経営環境は続くが

和歌山電鐵では、〔①前述の変電所や分岐器のほか、道床、マクラギ、電柱、信号設備などの老朽化が著しく、その維持修繕に費用がかさんでいることから、将来の負担軽減のため早期の大規模更新が必要 ②お客様の利便性向上と、新たなお客様に来ていただくための魅力づくりのためには、今後も積極的、継続的な投資が必要 ③現在、組織の世代交代期にあり、知識や技能の伝承のため一定期間の要員増が見込まれる〕こと等により、引き続き経営環境は厳しい。しかし今後も精一杯の経営努力によって赤字を最小限に抑えて地方鉄道再生の光明を灯し続け、和歌山にとってなくてはならない鉄道となるべく公共交通の意義・重要性を広く訴え続けていきたい、としています。

乗車人員の推移





# がんばろう! 元気だそう! 日本 貴志川線



このたびの東日本大震災により被災された皆様方に心よりお見舞いを申し上げます。

和歌山電鐵貴志川線は五周年を迎え6年目に入りました。

この五周年を祝って『第5回貴志川線祭り』を当初3月27日に実施すべく準備を進めていましたが、ご承知のとおり大地震が発生し延期することとし、5月8日に「復興支援チャリティーイベント」として実施いたしました。

貴志川線も8年前に全く突然廃線という問題が持ち上がり、震災ではありませんが、我々地域住民にとっては大変な窮地の遭遇することとなりました。

この様な中で私たちは「貴志川線の未来を”つくる”会」を立ち上げ、存続から永続の活動を続けてまいりましたが、多くの皆様方のご支援ご協力のお陰で、一步一步前進してきております。

貴志川線の未来を“つくる”会

代表 濱口 晃 夫

今、東日本の方々は大変厳しい状況の中で復旧復興のために頑張っておられます。私たちも多くの方々のお力でここまでやってこられました。東北では現在も全線で運転が再開できていない鉄道会社もあります。他人事、遠くの事柄とは思えません。

祭りには約4,000人という多くの方々賛同参加していただきました。お陰で義援金及び売上金が約60万円となり、5月30日「日本赤十字社」に届けてまいりました。また、全線で運転再開が出来ていない4つの鉄道会社(三陸鉄道、仙台空港鉄道、ひたちなか海浜鉄道、鹿島臨海鉄道)に、皆様から頂いた応援メッセージをお送りいたしました。

貴志川線の永続のための我々の活動も道半ばです。まだまだ厳しい状況には変わりありません。貴志川線が永続されるために皆様の更なるお力添えが必要です。今よりも一度でも多く貴志川線をご利用下さいますように、どうか宜しくお願いいたします。

東日本大震災により被災された皆さんに心よりお見舞い申し上げます。

## 2011年度(平成23年)役員名簿

(平成23年5月14日第6回役員会確認)

役 職	名 前	役 職	名 前
代 表	濱 口 晃 夫	幹 事	山 下 日 出 子
副 代 表	奥 重 視	//	梶 本 祥 子
//	木 村 幹 生	//	西 本 哲 夫
事 務 局 長	奥 山 和 生	//	川 口 昌 宏
事 務 局 次 長	奥 重 貴	//	稲 置 佳 広
//	堀 内 健 作	//	織 田 元 宏
//	川 村 記 義	//	森 山 正 雄
//	富 高 彰	//	中 川 隆 人
会 計	堀 瑛	//	藤 田 宗 治
幹 事	杉 林 雅 義	//	内 芝 あずさ
//	中 西 由 子	//	山 本 滋 子
//	小 山 裕 史	監 査	山 本 好 延
//	吉 本 昌 純	//	中 西 充 子
//	岩 垣 勉		



## 貴志川線の未来を” つくる” 会

# 平成 23 年度 活動計画 (2011 年)

～ 街づくりと結び、地域とともに歩む貴志川線をめざして～

貴志川線の未来をつくる会は、今年度も、貴志川線の黒字化による永続をめざし、利用促進と地域住民への啓発の活動を進めることとします。

## I. 基本方針

貴志川線の未来をつくる会は、「和歌山電鐵貴志川線が地域住民の足として、環境に優しく利用しやすい鉄道として永続、発展していくことを願い関係機関と連携して活動すること」を目的としています。

本年度も、和歌山電鐵、行政、関係諸団体と連携し街づくりの活動と協働して、この目的実現をめざして、出来ることをみんなで取り組んでいきます。

## II. 重点目標

- (1) 貴志川線の永続へ利用者を増やし黒字化をめざします
  - ① 黒字化めざして乗車人員 250 万人実現へ「チャレンジ 250 万運動」に取り組めます
- (2) 快適・便利で利用しやすい貴志川線をめざします。
  - ① 伊太祈曽～貴志駅間の増発を実現するため、大池遊園駅の対向設備の復活をめざします
  - ② 日前宮～神前駅間に新駅の設置をめざします
  - ③ 駅設備、ダイヤなどの改善を求めています

## III. 具体的な取り組み

- (1) 住民の声と想いを結集し、貴志川線の応援団として活動できる組織づくりに取り組めます
  - ① 会員 3,000 名以上を目標にあらゆる機会に入会呼びかけを行います
  - ② ボランティアスタッフの拡大と活動参加に取り組めます
  - ③ 会員の要望を集約し、和歌山電鐵や貴志川線運営委員会に反映します
  - ④ ホームページ、貴志川線ニュース、会報を通じ広報、啓発活動に取り組めます
  - ⑤ 地域イベントに積極的に参加し、協働を図ります
- (2) 利用促進と”日本一こころ豊かなローカル線”づくりに取り組めます
  - ① 引き続き各種利用促進イベントを開催します
  - ② 沿線住民へ「あと 4 回多く乗って黒字にしよう」の呼びかけ、啓発を行います
  - ③ 「第 6 回貴志川線祭り」の開催と成功をめざします
  - ④ 「マイルール、マイステーション」へ各駅の美化活動に取り組めます
  - ⑤ 「利用マナー向上」、「手を振る運動」に取り組めます、また社員のサービス向上を求めます
  - ⑥ 「さくら街道 貴志川線」に引き続き取り組み、花のあふれる沿線作りに取り組めます
- (3) 地方交通の存続と活性化へ学習・政策活動に取り組めます
  - ① 学習会、シンポジウムなどの開催と、参加に取り組めます
  - ② 地方鉄道を守り、発展させる活動を行っている諸団体との交流、協働に取り組めます
  - ③ 交通基本法などの政策学習と資料の収集活動に取り組めます



チャート  
250万

あと4回  
多く乗って  
黒字にしよう



▲ '11/4/22  
和歌山電鐵開業5周年  
仁坂知事、大橋和歌山・中村  
紀の川両市長、小嶋社長、濱口  
代表が参加「放談会」で未来を  
語り、餅まきで祝う



▲ '11/5/8  
大震災復興支援  
「第5回貴志川線祭り」



▲ '11/6/5  
第4回貴志川線に乗ってじゃがいも掘り



▲ '10/11/18  
貴志駅利用者・要望アンケートはがき配布  
集約し「要望書」を和歌山電鐵に提出



▲ '10/12/4  
貴志駅イルミネーション取付、点灯式

## 貴志川線駅名当てクイズラリー 全国33都道府県から729名応募

和歌山電鐵と共催して1月1日から3月31日まで実施した「貴志川線駅名当てクイズラリー」には、北海道から九州まで33都道府県729名の応募をいただきました。

参加のきっかけは過半数の58%が「わかやま電鉄（たま駅長）が好き」と答え、たま駅長の人気のすごさが伺えます。年齢では各年代共10%から20%で大きなへだたりは無く、男女別ではほぼ6対4で女性が多数を占めています。また応募者居住地は県内が46%、県外が54%となっており、地方別では関西67%、中部12%、関東10%、中国・四国が5%で、北海道・東北、九州・沖縄がそれぞれ3%と、ほぼ全国各地から来ていただいています。

絵を提供いただいた「日曜スケッチ倶楽部」の皆さんのご協力に感謝申し上げます。

### 貴志川線運営委員会とは……

貴志川線の永続的運営を基本理念とし、地方行政及び各種団体等が連携し、貴志川線の利用促進と沿線のまちづくりの推進を図ることを目的に会社の正式機関の位置付けで設置。

和歌山県・和歌山市及び紀の川市の交通政策担当課、和歌山商工会議所、紀の川市商工会、和歌山東高校、貴志川高校、貴志川線の未来をつくる会、和歌山交通まちづくりを進める会「わかやま小町」、和歌山電鐵のそれぞれの代表者が毎月第3木曜日に集まり会議を持っています。

上記目的に沿って沿線住民の意見、経営状況や安全対策、輸送障害等の報告も含めて様々な意見交換、情報交換を行い討議しています。



# つくる会活動日誌 (抄)

## 2010年(平成22年)

- 6月 12土 22年度第5回役員会 以降25回開催(定例月2回)
- 17木 22年度第3回貴志川線運営委員会 以降毎月1回開催
- 26土 22年度会費納入依頼文書・会報発送(51名)
- 7月 2金 ~4日 和歌山駅9番ホームで会費受付
- 8木 ワイズメンズクラブ阪和部会総会受け入れ打ち合わせ
- 11日 四季の郷公園周辺活性化第1回連絡交流会
- 12月 和歌山県那賀振興局まちづくり協議会
- 14水 わかやま環境フォーラム2010実行委員会
- 25日 甘露寺前駅つつじ園除草
- 31土 紀の川市西貴志コミセン夏祭りグッズ販売、入会受付
- 8月 4水 貴志駅竣工祭・完成披露セレモニー(案内・整理)
- 7土 貴志駅多客期応援、13、14、21、28各日、延べ30名
- 18水 天竜浜名湖鉄道活性化促進議員懇談会と交流
- 28土 和歌山生協病院夏祭りグッズ販売、入会受付
- 9月 3金 NPO法人「地域デザイン研究会」との交流会
- 9木 「グリーンツーリズム」応募打ち合わせ
- 23木 ワイズメンズクラブ阪和部会総会とコラボ(163名)
- 10月 2土 第31回労働者福祉祭りグッズ販売
- 3日 紀の川市西貴志コミセン祭り グッズ販売
- 9土 ~10日 わかやま商工まつり グッズ販売、ミニ電車運転
- 11日 甘露寺前駅つつじ園除草
- 12月 会費納入のお願い再要請文書発送
- 24日 貴志駅「にゃん前結婚式」設営、駅前整理応援
- 31日 「環境シンポジウム」伊太祈曾神社
- 11月 4木 和歌山県議会「半島振興・交通・産業振興対策特別委員会」貴志川線視察
- 6日 紀の川市丸瀬コミセン文化展 グッズ販売、入会受付
- 14日 「阿佐地域公共交通フォーラム」基調講演(徳島県)
- 18木 貴志駅利用者・要望アンケートはがき配布
- 23火 ノルデックウオーキングトライアルin四季の郷公園
- 27土 「わかやま環境フォーラム2010」展示参加  
岩出「かくはん祭り」グッズ販売、入会受付
- 12月 1水 那賀振興まちづくり連絡会議
- 4土 貴志駅イルミネーション取付作業、点灯式
- 18土 「クリスマス電車」プレゼント袋つめ作業
- 19日 「クリスマス電車」応援
- 28火 迎春準備門松製作、伊太祈曾駅に設置
- 30木 全駅「のぼり」点検、クイズラリー宣伝物設置

## 2011年(平成23年)

- 1月 4火 たま駅長就任4周年記念イベント 案内・整理
- 8土 貴志駅イルミネーション撤去作業
- 16日 第5回貴志川線祭り企画委員会
- 23日 第5回駅ペンキ塗り大会 西山口駅
- 25火 グリーンツーリズム表彰式(特別賞受賞)静岡市
- 30日 じゃがいも苗植え付け作業
- 2月 19日 「愛里(ラプリー)食の祭典」グッズ販売、活動展示
- 25日 グリーンツーリズム日帰り旅行受け入れ
- 3月 3土 ドラえもん一日駅長就任式 貴志駅
- 15日 「いちご電車でいちご狩り」応援
- 19木 第5回貴志川線祭り延期について代表談話発表
- 4月 2土 第1回役員会(23年度)以降6月11日で8回開催
- 13木 駅名当てクイズラリー抽選会
- 17日 「第6回貴志川線に乗ってたけのご掘り体験」(64名)
- 21木 23年度第1回貴志川線運営委員会 以降毎月1回開催
- 22金 和歌山電鉄開業5周年記念「放談会」、餅なげ
- 29木 貴志駅GW多客期応援(5/1・3~5) 延べ20名
- 5月 7土 第5回貴志川線祭り準備作業
- 8日 大震災復興支援「第5回貴志川線祭り」(4000名)
- 6月 4土 「第4回じゃがいも掘り」事前準備作業
- 5日 「第4回貴志川線に乗ってじゃがいも掘り」[420名]



▶ '11/4/17  
第6回貴志川線に乗って  
たけのご掘り体験



◀ '11/1/23  
第5回駅ペンキ塗り大会  
西山口駅

▼ '10/8/18  
天竜浜名湖鉄道活性化  
促進議員懇談会と交流



◀ '10/9/23  
ワイズメンズクラブ国際協会阪和  
部会とコラボ、関西中心に160名  
が貴志駅を訪問し交流

## 復興支援「第5回貴志川線祭り」に4000人 義援金60万2839円 日赤に寄託

「第5回貴志川線祭り」は5月8日、和歌山市の伊太祈曾神社と伊太祈曾駅を会場に開かれ、家族連れら4千人が来場し賑わいました。

3月27日開催予定が東日本大震災の発生で延期、「復興支援チャリティイベント」として開催されました。

伊太祈曾神社での開会式には、県知事代理、大橋和歌山市長、中村紀の川市長、小嶋社長があいさつの後「たま駅長」恒例の「みゃー」の一声で開会宣言、新製された「ミニいちごトレン」が除幕式でお披露目され、子供達に大人気で長い列が続きました。

義援金は会場内の募金や全国26社の地方鉄道から提供されたグッズ販売、出店者から売り上げなど60万2839円のご協力をいただき、5月30日、日赤和歌山県支部を通じ被災地に寄付しました。

また被災地の鉄道への「がんばろうメッセージカード」記入も行われカードは被災鉄道に送られます。

貴志川線の未来をつくる会は、役員会で承認し会員の総意として10万円を義援金として贈りました。

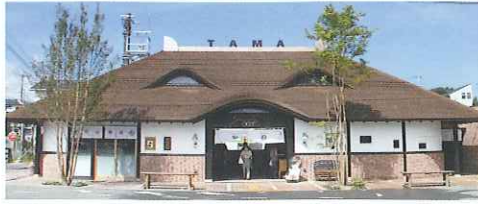


# 国・両市の補助(総額6,800万円)で7事業

和歌山電鐵貴志川線・地域公共交通活性化再生協議会(運営委員会参加団体で構成)は、平成21・22年度の活性化再生総合事業として、国・和歌山市・紀の川市より総額6,835万円の補助を受け、7事業を実施しました。

今回の補助対象事業は、鉄道の活性化・再生に関わる事業と利用促進に対するもので、和歌山電鐵の懸案事項の一部が解決され施設改善等が一步前進しました。

伊太祈曽駅トイレ水洗化新設▶



▲貴志駅リニューアル



## 補助で実施した主な事業

1. 貴志駅待合施設の整備
2. 各駅駐車・駐輪場の整備 (伊太祈曽・田中口・竈山の各駅)
3. 伊太祈曽駅トイレの整備
4. 和歌山駅階段への観光案内版の設置
5. イベント用ミニいちごトレインの製作
6. シンボル車両時刻表の開発 他

## 安全確保へ誇りと決意

和歌山電鐵技術課

工務主任 飯田 敦洋さんに聞く

和歌山電鐵は開業以来責任事故ゼロである。その安全を守る線路保守の最前線でがんばる工務課の飯田敦洋(32歳)技術主任にお話を伺った。

飯田主任は、大阪の鉄道会社を経て和歌山電鐵に入社された根っからの保線屋さんである。

「開業当時の線路の状況はかなりひどいものだった、今は大分よくなり乗り心地もよくなったでしょう」と当時を思い起こし笑顔を輝かせて語ってくれた。



分岐器交換夜間作業

今でも一番気にかけているのは道床の状態で、揺れや乗り心地に一番影響が出るそう、日頃から定期的に電車に添乗して異常を感じたらすぐ現場へ直行して、対策をとっているとのこと。特に雨の時は土

砂くずれが心配で、添乗を欠かさないと。この地道な取り組みが和歌山電鐵の安全を守る基本となっているのだと感じた。

和歌山電鐵開業以来の安全のための設備更新をお聞きした。



コンクリート枕木に交換

「分岐器(ポイント)交換を22年度までの2箇所と23年度に1箇所、コンクリート枕木化約800M、道床交換320M、踏み切り改良2箇所」などよどみなく数字がでてくる、全体を熟知しているからだろう、かなり予算をかけて取り組んできたとのことだが「まだまだ気はぬけない、将来のために今大規模な出費であっても取り組みた



線路の高低を入念に検査

い」とも。

何か利用者、住民にとお聞きすると「利用者が増えたことが大変うれしい、これからも安全の確保と乗り心地をよくするためがんばりたい、沿線の方には夜間工事の際など迷惑をかけるが、ご協力とご理解をお願いしたい」と語ってくれた、その言葉に安全を担う技術者の誇りと決意を感じた。



## 「交通基本法」制定へ 国会審議進む

交通機関間を有機的に結びつけ、効率的で持続可能な交通体系を構築するために国会で政府が提出した「交通基本法」の審議が進んでいます。

「交通基本法」には、国民の交通に対する基本的なニーズの充足、交通機能の確保及び向上、交通による環境への負荷の軽減、交通の適切な役割分担及び連携など交通に関する基本理念等が盛り込まれています。

私たちは厳しい状況にある地方鉄道の存続へ「鉄道の特性を生かした持続可能な交通体系の形成」に向けて「交通基本法」の成立を求めてきたものであり、今後も総合交通政策の実現に向けて、実効性のある関連施策の実施や、必要な法整備、財政の裏付けなどを求めていかなければなりません。



2010年度

# 貴志川線の未来をつくる会 会計決算報告

2010年4月1日～2011年3月31日

## 会費はこのように使わせていただきましたのでご報告いたします

皆様からお預かりした2010年度会費の使途について、2011年4月16日開催した第3回役員会において、2010年度(平成22年度)会計決算を承認いたしましたのでご報告いたします。

- 収入は、2010年度(平成22年)会員2329名の会費と、前年度繰越金および寄付金、和歌山電鐵グッズ販売手数料、紀の川市花いっぱい運動補助金、預金利息等です。
- 支出は、極力節減を図ってまいりましたが、本年度からイベント開催時のスタッフの交通費実費を支払うこととしたこと、また活動の拡大に伴い各科目について昨年度比若干増となりましたが、協賛金負担が無かったため、支出全体では昨年比約38万の増で決算することができました。
- 繰越金の処理について…126万6333円全額を次期一般会計に充当します。
- 「基金」および「特別会計」について
  - ①「貴志川線整備基金」について、行政の補助が10年間と限定されており、また貴志川線の施設、車両の老朽化が進んでいることから将来に備えて、2007年(平成19年)から積み立てているものです。
  - ②「ニュース和歌山25周年記念助成金」について、ニュース和歌山社様から2008年(平成20年)3月12日に寄贈いただいたものです、その使途を明らかにするため特別会計を設けて管理しています。

## 2010年度決算報告

### 〈収入の部〉

科 目	金 額	摘 要
前年度繰越金	1,716,532	2009年度繰越金(会費預かり金32,000円含む)
会 費	2,329,000	2009年度会員 @1,000円×2,329名
雑 収 入	285,435	寄付金(53名様)、グッズ販売手数料、紀の川市花いっぱい運動補助金、預金利息等
合 計	4,330,967	

### 〈支出の部〉

科 目	金 額	摘 要
通 信 費	588,931	会費納入案内郵送料金、電話料金、各種印刷物郵送・メール便料金等
郵 便 振 込 料	174,000	会費振込料(つくる会負担)1,381名分等
事 業 費	1,689,282	貴志川線祭り、各種イベント開催経費、駅美化、イベントガイド作成、会費徴収諸費等
広 告 宣 伝 費	168,075	「もっと!ずっと!」「入会受付」のぼり、三社参り横断幕
事 務 費	330,046	役員会会場・倉庫使用量、宛名シール、各種文具事務用品、コピー代、HP費用等
交 通 費	90,300	イベント34件、スタッフ延べ153名
預 かり 会 費	24,000	本年度会費に24名分充当
合 計	3,064,634	

### 〈決算内容〉

収 入	4,330,967	
支 出	3,064,634	
次年度繰越金	1,266,333	(次年度会費預かり金8,000円含む)

### 〈繰越金内訳〉

普 通 預 金	1,196,710	(紀陽銀行国体道路支店)
現 金	69,623	
合 計	1,266,333	

### 〈基金内訳〉

定 期 預 金	2,514,046	貴志川線整備基金(紀陽銀行国体道路支店)※2/27利息 2,010円含む
---------	-----------	--------------------------------------

### 〈特別会計内訳〉

普 通 預 金	750,694	ニュース和歌山25周年記念助成金(ゆうちょ銀行 友田郵便局)
---------	---------	--------------------------------

科 目	金 額	科 目	金 額
前 期 繰 越	971,323	ホームページ移設料	220,500
10/1 利 息	188	振 込 料	420
3/31 利 息	103	次 期 繰 越	750,694
合 計	971,614	合 計	971,614

### 会計監査報告

2011年4月15日

貴志川線の未来をつくる会  
代 表 濱 口 晃 夫 殿

監 査 山 本 好 延

監 査 中 西 克 子

貴志川線の未来をつくる会 会則第6条第8項に  
もとづき2010年度(平成22年度)会計監査を実施  
したので、下記により報告します。

記

1. 監査実施日 2011年4月15日
2. 監査場所 貴志川線の未来をつくる会事務局
3. 監査対象 2010年度会計
4. 監査期間 2010年4月1日～2011年3月31日
5. 監査の結果 帳簿・証書類等が、正確かつ適正に  
処理されていることを認めましたので  
報告いたします。

以上



# ひろば

会員や観光客の皆様からいただいた感想や要望、ご意見を紹介します



たま駅長と、たま電車・いちご電車に乗りたくて、遠く、愛知県田原市からたま駅長に会いに行き、会えて、すごくうれしかったです。電車も、小さい子供からお年寄りまで、楽しめる電車で良かったです。駅名当てクイズラリーもとても楽しかったです。

これからもがんばってください、応援しています！

愛知県田原市 女性 (31歳)



私は、観光について日々勉強をしている学生です。卒業研究で何について研究しようと考えたときに、地元・貴志川線が頭に浮かびました。地元であり、観光客が多く訪れるということは普段利用して思っていました。貴志川線について基本情報を調べていくうちに「貴志川線の未来を“つくる”会」の存在

を知りました。電車の存続のために、活動している住民の方々にとっても興味を持ちました。こんなにも熱心に取り組んでいる所は数少ないです。ただ乗車していただくのではなく、様々な活動があるからこそ乗客・観光客を増やせ、知名度を上げまた利用していただける。とても良い波及効果をもたらしていると私は思います。この住民活動を中心に、電車だけでなく沿線地域が素晴らしいものだという事を伝えたいと思います。

住山裕美さん (大学生)



田んぼや山川に添って走る電車は、ホッとするものです。ポスターを見て「この駅どこよ」のクイズに応募したところ、孫の名前で一日乗車券が送られてきて大よろこびです。あちこち行って思いきり遊びたいと思います。

いちご狩りに来た友達に「わあ～かわいい～」と写真を撮りつけていました。大人でさえ興奮する「たま電車」「おもちゃ電車」「いちご電車」。子ども達には、どれだけ多くの「夢と感動」を与えてくれることでしょう。

これからも貴志川線に期待しております。

宮脇玲子さん (和歌山市吉礼 962)



うちの店からおもちゃ電車・いちご電車・可愛いたま電車、店の窓から大きな絵画の様にお客様の目を楽しませてもらってます。岡崎前駅から徒歩3分、この地に来て丸3年、通学・買物と今まで車中心の生活だったけど電車の便利さに今更ながら楽しんでます。

始発 岡崎前 5:36分、終電 23:44分「おはよう！おやすみ 今日ご苦労様！」前を通る電車に毎日元気と勇気もらっています。和歌山電鐵貴志川線の電車達これからも微力ながら応援や協力をしていきたいと思っています。

カフェ モコ (和歌山市井戸)

貴志川線の未来をつくる会

## 23年度 新規 入会 募集 集中 中です

引き続き貴志川線の発展へ活動を続けてまいります。

23年度会費の納入につきましてご協力いただきますようお願い申し上げます。

■会費 年額1,000円 (期間:加入日に関わらず2012年3月31日まで)

■納入方法 郵便局振込み 口座番号:00960-1-277944

〔事務局〕和歌山市伊太祈曾558 伊太祈曾神社内(9:00~17:00)

和歌山駅9番ホーム 7月1日(金)、2日(土)、3日(日)15:00~19:30

### 一緒に活動しましょう

役員会は月2回(第2・第4土曜日 19時から)開催しています。どなたでも出席いただけます。ご連絡お待ちしております。

代表 濱口 晃夫まで

☎0736-64-6866

### 編集後記

本号は「会報編集委員会」を設置して編集を行い発行しました。従来とは少し違った紙面となったのではと思っております。

2329名も加入頂いている会員の皆様に情報を充分伝え切れないもどかしさを感じながらの紙面作りでした。

決算で明らかな様に和歌山電鐵はまだ赤字です。永續を確実にするためには、どれだけ乗客を増やすことが出来るかにかかっています。会員の皆さんと共にごがんばらねばと思うこのごろです。(和)